

地域連携ネットワーク構築事業

過疎地（消滅可能性地域） での取り組み

実施事業者：石川県建設業協会



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会

輪島市 - 66.6%

人口 27,205人

珠洲市 - 71.0%

人口 14,631人

穴水町 - 73.3%

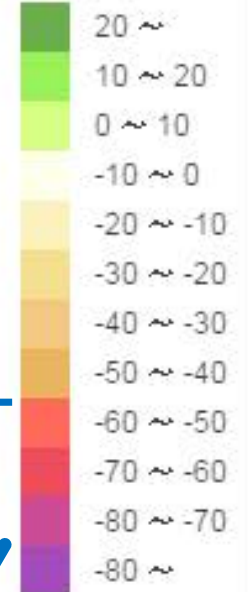
人口 8,793人

能登町 - 81.3%

人口 17,576人

※人口:2015国調

凡例 (%)



2040年の 若年女性(20~39歳) の増減率(日本創生会議)

50%以下 = 消滅可能性



— “未来”を創り “ふる里”を守る建設産業 —

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会

実施事業の計画

- 技能者を対象とした研修・訓練事業の実施
 - ・各専門工事業団体へ教育訓練体制の調査・構築要請
 - ・県内での教育訓練研修の支援

- 入職促進に資する広報活動
 - ・「建設産業広報リーフレット」の制作・配布（工業高校等）
 - ・情報交流の場づくり（各業種横断の意見交換会：入職、教育、処遇）



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会

民間研修のPR

○民間独自の技能研修のPR 「地元新聞への取材要請」



建設産業新聞平成27年9月18日掲載→

イスルギ(金沢市)が技能研修実施

入社10年目の左官職人対象に

左官工事等のイスルギ(金沢市、石動信明代表取締役社長)は今年から始めたもので、現在左官工事においては、建設の現場ではなかなかできないうちのモルタル塗りなどの技術を若手に基礎から教えるため、左官の技術を将来に伝えていくのが目的だ。

建設産業新聞取材に、イスルギの左官職人たちが、入社10年目の左官職人を対象に、今年9月と10月の2カ月間、月曜日と火曜日の週2回実施する。また手探りで、

研修を実施している。企業内研修として今年から始めたもので、現在の左官工事においては、建設の現場ではなかなかできないうちのモルタル塗りなどの技術を若手に基礎から教えるため、左官の技術を将来に伝えていくのが目的だ。

技能研修は9月と10月の2カ月間、月曜日と火曜日の週2回実施する。また手探りで、

きほんとしたカリキュラムがあるわけではないが、10年目で仕事に慣れてきて現場も分かっている若い職人に、もう一度左官技法の基本をしっかりと覚えてもらい、彼らに左官の面影を伝える狙いがある。

今年受講者は5人、いずれも1級、2級左官技能士の資格を所有している。講師は同社左官事業部主査の本中正夫氏が務め、今

月にはモルタル塗りを中心に教えている。左官の仕事は今、基本的に補修が中心で、壁を塗ることも少なくなっている。中本氏は「モルタル塗りの仕事は、現場ではほとんどなくなってきたので、あってもベテランの職人がやっけてしまっていて、若い人がやる機会がない。今のうちに教えておかないと技術を伝えることができない。ちょうど10年目になると仕事のノウハウも知っている。モルタル塗りは墨出し、糸振りが基本作業なので、若い人にマスターしてもらいたい」と話す。受講者に作業をさせて、その都度写真を撮り、注意やアドバイスをしている。受講者の一人は「現場でも役に立つことばかりで、こうした研修を受けられるのはありがたい」と話していた。

10月には漆喰関係の上塗りや仕上げの実技研修も予定している。「これからも毎年、10年目の社員を対象に、カリキュラムも考えながら、この技能研修を続けていく」と(石動副部長 方針だ。

モルタル塗りなど技術伝える



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION
石川県建設業協会

講習会の実施（その1）

○石川県建築組合連合会との連携

「建築大工の技能検定準備講習会」を4回に分けて開催

| | 建築大工1級 | 建築大工2級 |
|--------|--------------------|-----------|
| 試験内容 | 木造小屋組み振れ隅部分の制作 | 四方転び脚立の制作 |
| 講習（作図） | 墨付けの仕方について図面作成指導 | |
| 講習（墨付） | 墨付けの仕方指導 | |
| 講習（実技） | 制作指導 | |
| 講習（学科） | 過去5年分の問題の内容説明と解答指導 | |



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会

講習会の実施（その1）

石川県建設業協会として初めて受講費を助成。
受講生は11企業から15名。

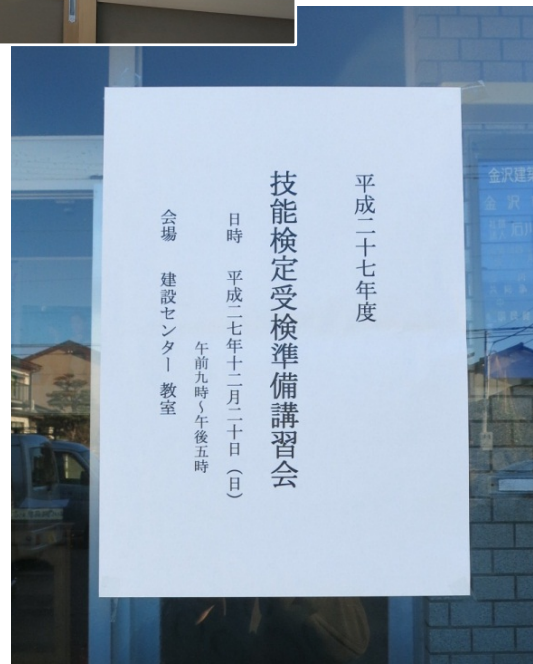
建築大工 1 級 12名、建築大工 2 級 3名



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION
石川県建設業協会

講習会の実施（その1）



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION
石川県建設業協会

講習会の実施（その2）

○奥能登総合労働基準協会と初の連携

奥能登は建設業従事者の人手不足や高齢化が深刻。県立能登産業技術専門校にて、職歴の短い従業者向けに「職長研修」を平成28年1月21・22日に実施。

建設業人材育成へ
きょう初セミナー
能登産業技術専門校
県立能登産業技術専門校は21、22日、能登町の同校で、奥能登地域の建設業人材育成に向けたセミナーを初めて開く。職歴の短い従業者に向け、労働災害防止や安全管理を指導する。

珠洲、鳳輪の両建設業協会から、同校に人材育成の協力要請があった。約40人が受講し、現場監督などを務める上で必要な安全意識を養う。

北国新聞1月20日掲載

建設業の人材育てる
能登町でセミナー
奥能登地域建設業人材育成在職者セミナーは21日、能登町の県立能登産業技術専門校で2日間の日程で始まり、建設業などに従事する41人が労働災害防止や安全管理について学んだ。

奥能登では建設業従事者の人手不足や高齢化が進んでいることから、珠洲、鳳輪の両建設業協会が、同校に人材育成での協力を求めた。同校は、奥能登総合労働基準協会（穴水町）と合同で、現場監督となる上で必要な知識を身に付けるセミナーを初めて開いた。

北国新聞1月21日掲載



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION
石川県建設業協会

講習会の実施（その2）

石川県建設業協会として初めて受講費を助成。
23の企業・団体より41名が参加。
昨年（約20名）から倍増。



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION
石川県建設業協会

講習会の実施（その3）

- 奥能登総合労働基準協会と連携
能登産業技術専門校において
「型枠支保工の組立て等作業主任者技能研修(座学)」
を平成28年2月24日25日に開催予定。
参加者は30名を見込む。
石川県建設業協会として初めて受講費を助成。



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会

入職促進に資する広報活動

○ 建設産業広報リーフレットの制作

県下の工業高校等、
関係先に配布予定。

- ・ カラー、8頁
(220mm×220mm)
- ・ 2,000部

表紙案→



—“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業—

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会

今後の課題

- 継続に必要なとなる予算の確保
- 国や県との連携強化（地域連携ネットワーク）
 - 建設業－国土交通省
 - 技能検定、能力開発－厚生労働省
 - 産業教育－文部科学省・教育委員会
- 会員企業の雇用ニーズとの連動方法検討



－“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業－

ISHIKAWA GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

石川県建設業協会